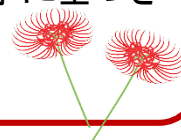




暑さ寒さも彼岸までと申しますが、いかがお過ごしでしょうか。
2025年の「秋分の日」は9月23日です。「秋分の日」は天文学に基づき
毎年日付を変える特別な祝日です。
そこで今回は『秋分の日』についてお伝えします。



「秋分の日」と「お彼岸」

「秋分の日」は秋のお彼岸の中日にあたり、この日を境に昼は短く、
夜は長くなっていきます。

2025年の秋彼岸
9月20日（土）
彼岸入り
9月23日（火）
秋分の日（中日）
9月26日（金）
彼岸明け

「彼岸（ひがん）」とは先祖のいる世界の
ことで、対する私たちが住む世界は「此岸
（しがん）」といいます。

「秋分の日」は、彼岸と此岸が最もつながり
やすくなると考えられたことから、お彼岸に
先祖供養を行う習慣が根付いたといわれて
います。



ぼたもちとおはぎの違い



- ・漢字にすると「牡丹餅」と「お萩」であることから、春と秋に
花が咲く牡丹と萩に見立てているという説
- ・「こしあんで作ったものがぼたもちで、粒あんのものがおはぎ」
など、ぼたもちとおはぎの違いについて様々な説があります。



	食べられる時期	例えられる花	あんの状態
ぼたもち(牡丹餅)	春のお彼岸 	牡丹（ぼたん） 	こしあん
おはぎ(お萩)	秋のお彼岸 	萩（はぎ） 	粒あん

参照画像：カゴメ

お彼岸におはぎをお供えする習慣は、江戸時代に定着した
そうです。小豆の赤い色は災難から身を守るという験担ぎに
加えて、昔は貴重だった砂糖を使うおはぎをお供えする
ことで、ご先祖様への感謝の気持ちを伝えるという
意味合いも込められています。 ※所説あります

